

# 5月の園だより

令和7年4月25日  
杉並区立成田西子供園  
園長 齋藤 由美

## 『自然を楽しむ環境づくり』

副園長 小森 三奈子

入園してから3週間がたちました。子供園では、毎日元気いっぱいな子どもたちの声が響いています。

新入園児は、保育者と一緒に過ごしたり、興味のある遊具で遊んだりする中で、少しずつ笑顔が見られるようになってきました。進級時は、新しい環境に慣れ、自分のしたい遊びや友達との関わりを楽しんでいます。また、年長組は、進級したうれしさを感じ、友達と一緒に当番活動をしたり自分よりも年下の幼児に優しくしたりしています。それぞれの学年が、新しい環境の中で子供園での生活や遊びを楽しんでいる姿が見られます。

子供園では、毎年、園内研究を通して保育の質の向上を目指しています。4月の園だよりで、お知らせしたとおり、今年度は、とうきょうすくわくプログラム推進事業を受けて『自然との関わり』をテーマにした研究を進めていきます。

とうきょうすくわくプログラムとは・・・

幼稚園や保育所ですべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探求心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラムです。

学習院大学の秋田喜代美先生は、『急激に変化をする社会においては、新たなものを自ら創り出す創造力や、仲間と協同し、問題を解決する力がとても重要。考え問うという力は、人工知能にはない、人が持つ本質的なもので、その基盤は、遊びや学びに夢中になる中で、様々な試行錯誤体験や気づきを繰り返し、培われていくもの』と述べています。

- ① 「なんで?」「どうして?」と好奇心をもつきっかけを増やす
- ② 「できるかな」「こうしてみよう」と考えを広げる
- ③ 「できた!」「今度はあれをやってみよう」と考えを深める

このような思いがもてるよう、環境や問いかけ方を工夫し、子どもたちの興味関心に応じた探究活動が実践できるようにしていくことが、とうきょうすくわくプログラムです。

成田西子供園では、好奇心をもつきっかけとなるよう、園内の環境づくりに取り組んでいます。

4月に、年長児がパンジーやチューリップの花を使って色水遊びをしていました。使う花や、水の量に応じて、色や濃さが違うことを楽しみ、繰り返し色水遊びをしていました。そこで、「夏も色水遊びや香りを楽しめるような植物が欲しいね」と、購入検討しました。

また、年長組は、植物に詳しい講師 渡邊直樹さんと一緒に、近隣の公園に出掛け、いろいろな植物を見たり触れたり、簡単な特徴について聞いたりし、身近な自然に興味をもつきっかけとなりました。

24日には、保護者の方にも協力していただき、夏野菜を育てる畑の土づくり（球根を抜く）をしました。咲き終わったチューリップの球根を保育者が片付けてしまうのではなく、それを遊びに活かせる環境を用意したいと考えました。大人が、子どもたちの目の前でチューリップが咲いていたプランターをひっくり返すと、興味をもった子どもたちが集まり、土の感触を楽しみながら、「土の中から何が出てくるかな?」とワクワクしながら探していました。長い根のついた球根や、コガネムシの幼虫を見つけると、子どもたちは大興奮です。保育者が球根から根っこや茎を取って見せると、近くで見ていた子どもたちも、まねをして取りはじめました。「うわー、根っこ長いね。」「根っこは柔らかいけど、こっち（球根）は固いね。」と気付いたことを言葉にしていました。また、年長児は、根っこを取るコツをつかむと、友達に教えてあげたり、年下の幼児の分も取ってあげたりしていました。自然物に触れることを楽しむ幼児もいれば、それをラーメンやネギなどに見立てて、ラーメン屋ごっこを始める幼児もありました。

このように今年度は、自然を身近に感じ、探求できるような環境づくりを園全体で意図的に取り組み、子どもたちの好奇心や探求心を育てていきます。

## ☆子どもたちの様子と月のねらい・おすすめ絵本☆

### 3歳児らっこ組

#### ♡子どもたちの様子♡

入園してから1か月が経ち、毎日、元気いっぱいな声が聞こえてきます。少しずつ園生活に慣れてきて、安心して気持ちで楽しむようになってきています。園庭では、フープ電車、虫探し、ちょうちょう作り、車遊びなど、夢中になって楽しんでます。気に入った遊びを繰り返し行う姿も見られるようになってきました。

また、上履きを履いたり、朝の支度をしたりすることも、保育者と一緒に繰り返し経験していくことでできることが増えてきています。保育者が見守ったり、励ましたりしながら「やってみたらできた!」という気持ちをもつことができるようにします。

#### ✿今月のねらい✿

○自分のしたいことを見付けて遊んだり、気に入った遊びを繰り返したりすることを楽しむ。

○保育者に親しみをもち、触れ合ったり一緒に遊んだりすることを楽しむ。

○子供園での生活の仕方がわかり、自分のことを自分でやってみようとする。

#### ◆おすすめ絵本◆

『へび ながすぎる』ふくながじゅんぺい・作／絵 こぐま社

『どんどこどんどこももんちゃん』とよたかずひこ・作／絵 童心社

### 4歳児ぺんぎん組

#### ♡子どもたちの様子♡

入園・進級して早くも1か月が経ちました。ぺんぎん組での過ごし方や新しい担任にも少しずつ慣れ、自分のやりたいことを見付けていく姿が見られるようになりました。一緒に過ごしたい友達がいたり、『今日はこんなことがしたい!』という思いが出てきたりしています。

ウレタン積み木でおうちや基地などをつくったり、製作コーナーにあるものを組み合わせて思いついたものをつくったりすることが楽しくなってきました。新しく使えるようになった遊具や用具を使い、自分で出したり、構成したりして遊ぶ経験を積み重ねていけるようにします。

#### ✿今月のねらい✿

○身近な自然に興味をもって触れ、遊びに使ったり、感触を楽しんだりする。

○保育者や友達と触れ合って遊び、親しみを感ずる。

○生活に必要なことを自分でやろうとしたり、困ったときに保育者に伝えようとする。

#### ◆おすすめ絵本◆

『ぞうくんのさんぽ』なかのひろたか・作／絵 福音館書店

『ころちゃんだんごむし』高家博成、仲川道子・作 童心社

### 5歳児いるか組

#### ♡子どもたちの様子♡

いるか組の子どもたちは、進級して張り切った気持ちで、遊びや生活に取り組んでいます。マルチパネルや大きなシャベルなど、新しく使えるようになった遊具で遊ぶことが嬉しく、友達と声をかけ合いながら遊ぶ姿が見られます。こいのぼり作りでも、2～3人組のグループで、どんな色にしようか、模様は何で作ろうか、互いに思いを出し合いながら、一緒に作る楽しさを感じています。また、歓迎会や園内探検、避難訓練などのときには、年長児として、らっこ組やぺんぎん組に自分たちの知っていることを教えてあげたいという気持ちもち、取り組む姿がありました。

今月は、井の頭自然文化園への遠足を計画しています。学級の友達と一緒に電車に乗って出かけ、いろいろな動物を見たり、乗り物に乗ったりした経験が、次の遊びへとつながっていくように、援助していきます。

#### ✿今月のねらい✿

○遊びや思いついたことに合わせて素材や遊具を選び、つくって遊ぶことを楽しむ。

○保育者や友達に自分の思いを表しながら一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

○当番活動を楽しみにし、友達と一緒に張り切って取り組む。

#### ◆おすすめ絵本◆

『かえうた かえうた こいのぼり』石井聖岳・作／絵 講談社

『みどりいろのたね』たかどのほうこ・作／太田大八・絵 福音館書店